復興新聞の紹介

ここでは、「朝日小中学生復興新聞コンクール」で文部科学大臣賞を受賞した鏡石一小5年4組（現6年4組）の全27作品のうち、2作品を紹介します。カラーでお見せできないのがとても残念なくらいきれいな色使いをしている作品です。なお、6～7ページでは、ここで紹介した2人以外の子ども達の復興新聞タイトルなどの紹介をしています。

こんなすごい賞をもらえることになって、初めはびっくりしたけどうれしかったです。新しい学校を作っているから、今は工事の音とか少しうるさいけど、完成を楽しみにして勉強を頑張っています。学校の校庭も今は狭くて遊びにくいので早く広くなってほしいです。

榊枝（さかきえだ）　優夏（ゆうか）さん

泳ぐのが好きだったけど、町民プール「すいすい」が震災で壊れて行けなくなりました。復活してうれしかったのでテーマにしました。新聞を書くのは大変だったけど、おもしろかったです。初めは東京に行けたらいいなと思って新聞を書いていたので、実現して東京での表彰式に行けたのでよかったです。

安藤（あんどう）　大智（だいち）君

ガンバレ鏡石新聞

鏡石第一小学校
5年4組
榊枝優夏

学校の校庭がせまい！頑張ろう！スイスイプール

私たちの学校は震災でこわれました。今は、仮設校舎で過ごしています。そのため、校庭が仮設校舎のためにせまくなりました。この左側の写真の左らへんには前の学校があったけど、今年の夏休みにこわされました。今、新しい学校作りにとりくんでいます。約来年の三学期くらいにできる予定です。みんな楽しみにしています。休み時間、外で遊ぶ時は、表校庭と、うら校庭で遊んでいます。

校庭の写真

せまいけど、竹馬やコフフープ、バスケ、サッカー、ドッジボールが、表校庭にあるので、毎日みんな楽しく遊んでいます。うら校庭では、鉄棒、ブランコ、登りぼう、タイヤ飛びなどがあります。

二年から六年生、冬でも、寒さや校庭のせまさをわすれて、元気におにごっこなどをして、休み時間を過ごしています。一日でも、早く前の校庭のように、広くかえるようにしたいです。

私たちの鏡石町には、スイスイプールがあります。ようち園児からお年よりまで来ます。でも、東北大震災でスイスイプールの中はめちゃくちゃになって入れない状態になってしまいました。それでも、工事をして、何か月ごとには、もとのようになおりました。夏休みには、小学生だけの、五回分の無料券をくれました。とってもうれしかったです。夏休み前にもとどおりになって本当によかったです。

今は、前のように、お年よりの人や、大人の人、小学生中学生いろんなんが、楽しく泳げる状態になっています。復かつして、本当によかったです。

スイスイプールの外の写真

復興新聞

鏡石町立第一小学校
5年4組
安藤大智

完全復活スイスイプール　元にもどる校舎について

ぼくたちの町民プールすいすいは東日本大震災で、すいすいはこわれました。その影響で去年はプールにいっさい入れませんでした。でも今年はスイスイもものようにもどって中にも入れるようになりました。今年の夏はスイスイに何回も行きました。水の中はきれいでどこも壊れているところはどこにもありませんでした。

もとにもどったスイスイプール

ぼくはスイスイプールでうれしい思い出があります。それは町水泳こうかんかいです。ぼくは、おもいっきり泳ぎました。その結果ぼくは自由型で三位でした。

すごくきれいだね

ぼくたちの校舎は東日本大震災で壊れてしまいました。その影響で四年生の一学期は鏡石町立第二小学校で勉強をしました。今の仮設校舎は家庭科室と図工室がありません。新しい校舎は来年の三学期に出来る予定です。ぼくたちは来年六年生なので

校舎がもっとあった場所
いまはさらちになっている

ぎりぎり新しい校舎に入ることが出来るのでうれしいです。もっとはやく新しい校舎が出来ればうれしいです。ぼくたちは来年六年生になるので新しい校舎の一番最初の卒業生になれるのが楽しみです。

はやくできてほしいなー